

そよかなぜたより

2008
10月号

9月末あたりから気温がグッと寒くなりました。夜に半袖で外へ出ると肌寒く感じますね。急に寒くなった事だ。最近は何邪が流行っているようです。体調を崩されてはいないでしょうか？

夏には、ペットのお散歩なども太陽やアスファルトの熱で、屋間にできずに、朝早くや夕方過ぎなどの涼しい時間帯にしかお散歩できなかった方も多いと思います。(朝いまま汗たぐいで、熱中症になりそうなお熱いでいたわ)

しかしこの時期になりますと、夜は寒いですが昼間は気持ちの良い秋晴れで過ごしやすくなりました。

お散歩には、快適な季節ですね。外を歩いていても気持ちが良いものです。そろそろ葉っぱも色づき始めてくるので、さうか？とつい自然の季節の変化も大切にしたいですね。

また、秋は食べ物もおいしい時期です。スポーツの秋ということで、沢山身体を動かしておいしいものをよりおいしく食べたいものです。その為にも、歯をはじめとしてお身体にはお気をつけください。

一言メモ

コンクール<F>



- 虫歯・歯周病予防に！
- 歯列矯正中の方に！
- 食後のフラーコントロールとして！
- 就寝中の細菌繁殖予防に！
- 口臭予防に！

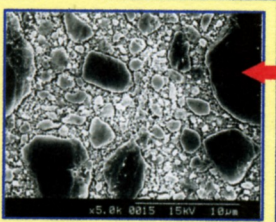
- 歯と歯の間などの歯ブラシの届きにくい所にまでしっかり入り込み、虫歯や歯周病、口臭の原因となる細菌を洗い流します。
- 毎日のフッシング時や食後、就寝前などに使えば、お口の中もキレイでスッキリ。
- 水に5～10滴、薄めて洗口するだけ。
- 少量で効果があるので、360～370回使用でき、大変経済的。
- 低刺激なので、ピリッとした刺激が低い。

白い歯の詰め物ってなに？



前回は小さなむし歯の性質やむし歯の取り除き方についてまとめました。取り除かれたむし歯は歯の神経(歯髄)に近くなり、そのままにしておくと冷たいものにしみやすくなり、むし歯菌が繁殖しやすくなります。そこでむし歯を取り除いた歯は、金属や合成樹脂を用いて元通りの歯の形に戻し、歯本来の機能を取り戻すとともに、最近では合成樹脂を用いて色調も歯に合わせられるようになりました。今回はこの合成樹脂についてまとめます。歯に詰められる合成樹脂は主にアクリルが用いられています。アクリルだけでは強度が不十分であるため、ガラスを粉砕し、特殊技法で混ぜています。この材料をコンポジットレジンと言います。コンポジット=混ぜる、レジン=合成樹脂、すなわちガラスの粉を混ぜた合成樹脂という意味になります。

現在では、この合成樹脂の色調も多彩になり、歯に併せ事ができるようになり、可視光線でも容易に固める事ができます。したがって審美的な治療ができるようになりました。



ガラスの粉
ガラスの粉は材料自体を硬くするために合成樹脂に混ぜられています。

電子顕微鏡拡大像 (5000倍)

今月の豆知識!? 秋といえば...

秋といえば、皆さんは何を思い浮かべますか？あるランキングでは...

1位食欲 2位読書 3位スポーツ 4位行楽 5位芸術

ちなみに秋の食とって思い浮かぶのは、

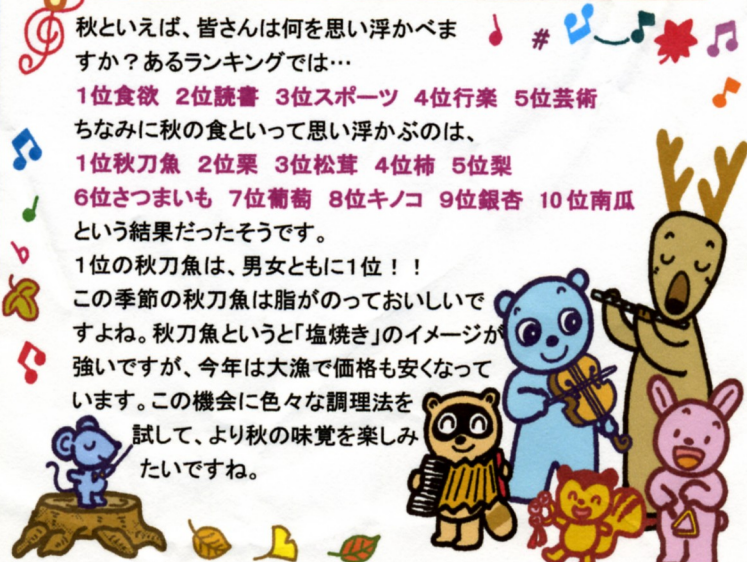
1位秋刀魚 2位栗 3位松茸 4位柿 5位梨

6位さつまいも 7位葡萄 8位キノコ 9位銀杏 10位南瓜

という結果だったそうです。

1位の秋刀魚は、男女ともに1位！！

この季節の秋刀魚は脂がのっておいしいですよ。秋刀魚というと「塩焼き」のイメージが強いですが、今年は大漁で価格も安くなっています。この機会に色々な調理法を試して、より秋の味覚を楽しみたいですね。



院長より

今月号は、むし歯の治療の際に用いられる人工材料(合成樹脂)についてまとめました。この合成樹脂は今から約三十年前から使われはじめ、ここ十五年くらいで急速に進歩した材料です。

以前は銀の詰め物が主に用いられていましたが、その銀は歯に対して優しい材料として用いられていました。詰め物自体が歯にくっかないという欠点がありました。そこで合成樹脂では歯に接着できるように、さらに歯の色調に合わせることが容易になりました。

歯と材料が接着することは、歯科材料が歯から落ちないようにするための特別な切削法を必要としないため、むし歯のみの除去が可能になりました。特に綺麗な天然の歯をお持ちである方はできるだけ自分の歯を残したいと言ったのが人の心情です。これが叶うようになりました。さらに削除する歯が少ないために歯の切削時の痛みがなく、削ることが可能になりました。すなわち、局所麻酔を適応せずにむし歯の治療ができるようになりました。

このように材料の進歩により歯の治療自体が変わってきています。次回はこの合成樹脂を歯に接着する材料についてまとめます。